

## LPガスCP情報(2017年9月積み)

### 1. 9月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **480** 円 (前月比+60円)

ブタン **500** 円 (前月比+40円)

#### ① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油・石油製品市況が反騰するなか、LPガス需要はインド、中国需要の高まりで市況は上昇した。トレーダーの引き合いが強まりプロパン単体のカーゴが一時過熱状態となり、プロパン、ブタン格差が縮小、ブタン付カーゴの不足は米国産の到着でプレミアムはプロパンの方が高くなった。CP先物は、第4週に反騰、極東CFR市況は第4週末でプロパン485円、ブタン510円どころへ続騰、フレート市況はオーナーの強気の売り唱えで強含むもほぼ横ばい。

一方、米モンベルビュープロパンスポット価格(FOB:以下MB)は、全米プロパン在庫が増加、輸出は市況高騰でキャンセルが続き2015年6月以来の水準に落ち込んだが、在庫水準は過去5年の平均を下回り、穀物乾燥用需要を控え第4週末には405円まで上げた。月間平均は393円/トン、前月比52円の急騰。先週末の米国ハリケーンの影響で石油製品市況が急騰しており、CPは「足元を見られて」高値に設定されたか。

ナフサは原油市況に連れ高、月間平均は467円、前月比40円の大幅続騰。バンカーオイルも原油市況に追随し、月間平均で307円どころ、前月比7円の続伸。

9月CPは前年同月比プロパン185円、ブタン180円高。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン9ポイント、ブタン4ポイント上昇、前年同月比ではプロパン36ポイント、ブタン35ポイントそれぞれ高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	19	19	21	21	20
CP先物指標:P	435	445	440	455	444
CP先物指標:B	460	465	460	475	465

#### ② 原油市況等

WTIは8月49.16円でスタート、OPEC加盟の減産免除国であるナイジェリア、リビアの増産もありOPECの7月生産量が年初来最高を記録、米原油生産量は950万b/d超まで増加し2015年以来の高生産量となり中旬に一時46円台まで下げた。ただ、米国原油在庫の減少が続く、米国のリグ稼働数が4週連続で減少したことを好感、リビアのパイプライン障害もあり反騰した、第4週末にハリケーン「ハービー」がテキサス州に上陸、ルイジアナ両州の石油精製施設が停止し、原油在庫増加懸念でWTIは急反落したが、ガソリン市況が急騰。

一方、NYMEXのWTI総取組高は25日時点で223万枚、前月末日横這い。大口投機玉の買越残高は8月22日時点で44.5万枚と前月比2.2万枚増加した。大口投機玉の買建売は67.6万枚、売建玉は23.1万枚どころで推移、買建玉は月初めから4万枚減少した。

○8月積みアラビアン・ライト(8月1~28日まで)は49.81円(前月比+2.47円)

熱量等価AL100% プロパン408.39円/トン ブタン402.79円/トン

AL比 プロパン117.53% ブタン124.13%

**\*上記ALはEIN推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。**

### 2. 2017年9月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用為替	TTS	P円建CP	B円建CP	MB合成P	P前月比	B前月比	合成P前月比
①20日締め	111.57	55,100	58,500	56,500	+6,800	+6,800	+6,300
②末日締め	<b>110.90</b>	49,900	53,200	51,500	+6,500	+6,400	+5,900

\*TTS平均について、①が7月21日~8月20日、②8月1~29日まで。①、②いずれも前月・当月CP50%案分。MB合成の比率は①がCP75%、MB25%、②がCP70%、MB30%で算定。①は中東・北米フレートを含むCFRコストを②はFOB(北米経費込み)コストを表示。なお、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、仕切の詳細はWebサイトを参照。